

楽々亭通信

発行:NPO法人没イチの会・京都



3月の楽々亭を 開催いたしました



■彼岸からいただく
お仏事

本願寺派布教使

安堂芳雅

「暑さ寒さも、彼岸まで」と言います。

この時期になると、「車のタイヤを衣替えしなれば。」と思うのですが、ねっから面倒臭さがり屋の私。

ここ数年は、ゴールデンウィークごろにやっ取り換える始末です。こんにちは、安堂です。

太陽が真西に沈む「春分の日」「秋分の日」をお中日として、前後三日、併せて七日間を「お彼岸」といいます。

皆さん、お墓参りに行かれましたか？

「お墓の前でお経をお願いします。」という、「墓前読経」のご依頼がありま

す。たいてい、そういう時の参列は、一人二人ではなく、一族郎党引き連れてとはいいいませんが、一大家族、三家族そろってのお参りになります。

ちなみに、私が住んでいる宇治市では、碁盤の目のように区画整理されている墓地が多く、そのようなご縁では、そこを、お花やお線香、水桶などを持って、一列になつてぞろぞろと進むわけです。そして、お家のお墓の前につくと、必ずみなさん、

隣のお墓の敷地にどきどきと荷物を置き、「すみません、すぐ準備しますから、ちよつと、待ってください。」とおつしやつて、お掃除とお荘厳をはじめられます。

よくわかります。お勤めがはじまりますと、お焼香があります。

鞆を持っていては、合掌できません。わかります。わかるのですが…。

もし今、お参りしている「うちの」お墓が、隣のお墓に参った方々の荷物置き場となつていたら、いかがでしょうか。

私たちのご先祖をたどつていけば、お隣さんもきつとご親戚に違いありません。

何故かという、あなたのお父さんとお母さんで二人、おじいさんとおばあさんで四人。単純計算で、一人当たり十代さかのぼ

れば1024人、二十代ではなんと100万人先祖がいる事になります。どれぐらい昔かという、20代さかのぼりますとおおよそ440年前、西暦1600年ぐらいです。(織田信長が明智光秀に打たれた頃です)

調べてみますと、440年前の日本の人口は、約1200万人でした。ということは、十二人分のご先祖しかいないことになりました。

そんなわけはありません。そんな日本人の大半は共通のご先祖さまということになります。

もしかしたら、あなたと隣のお墓にお参りされた方々のご先祖さまは、同じ人だったかもしれませぬ。

ご先祖さまを大切に思つてのお墓参りです。お隣に場所をお借りする時は、そちらのお墓にもお花とお線香をお供えし、

合掌礼拝の後に、「ちよつとおじやまをいただきます」と、お参りしていただきました。いものです。

■さて、その「お墓参り」ですが、参ろうと決めたのは私、参つた足も私の足。墓前で合わせた手も私の手。私のかい性でお参りしたと思いがちですが、決してそうではありません。

お浄土(彼岸)にかえり、仏さまになられた方々からよばれて、娑婆(此岸)の私たちが参らせていただいたのです。

阿弥陀さまと同じ「さとりのお仏」となつていかれた大切な方々が、阿弥陀さまのお手伝いをなさっているのです。

「同じ、お浄土に参つてきてくれよ」と様々なご縁となつて私たちにお浄土への道を歩ませて下さっています。

お彼岸のお仏事は、阿弥陀さまやご先祖さまからいただく尊い時間です。



松竹のプロデューサーとして

その12

当日の朝を迎えました。早々に出社しまして委員連中に再度内容を確認して午後よりホテルオータニに行き、支配人との打ち合わせを済ませ、社内の委員連中には来賓の確認と、俳優連中には宴会の立ち位置などを事細かに指示、祇園の芸姑さん達には最初の踊りでの出始め、舞台での踊りお客様接待などの打ち合わせSKDの女優連中には名札を一人ひとりにお付けする。

寅さんの俳優さんには何々。必殺の連中には何々。團十郎を

はじめ、歌舞伎の俳優には入り口で名札を各自にお付けする。入り口には会長、女優、社長、女優の順席で立礼で出迎える。6時前に全員役員はその後に並びお迎えすること。そして6時に私がキューをだしたら楽団演奏を始める事。音楽は松竹映画の主題歌を演奏する。それが入場の合図となる事などすべて打ち合わせを走り回って決めていきました。

そして最後に会長と社長の挨拶は3分以内にしていただきたい旨、お願いしました。いてして夕食も取らず走り回って定めてゆき、6時になり入場してもらいました。

音楽が先行し、お客様が皆様笑顔で入場されて来しました。演奏は「愛染かつら」「君の名は」など松竹映画の主題歌が場内に響き渡り、お客様も立ち止まって懐かしい音楽に聞き入る方も出てきました。

会長、社長の話が終わった後、直ちに祇園の芸姑が踊りながら入場、そしてホステスとしてお客様のお相手をして頂き、舞台

では映画、演劇、テレビの俳優さんの挨拶が終わり(さすが舞台に慣れている役者の人々)。いてしてSKD連中のラインダンスがあり賑やかな会が進行していきしました。そして俳優、役者SKDの連中が場内の接待に入り賑々しいパーティーと化しました。皆様も笑顔で・・・。

又、抽選で車の当たる人、最後まで帰る人もない盛大なパーティーでした。

帰る時、東映・東宝の社長さんが「櫻井君、全体でいくらかかったのか教えてくれよ」と言われましたが、「明日の役員会で報告があるまで私には分かりません」ということに致しました。9時に全員が退場されまして、社員が残って、会長より「最高のパーティーだったと来賓が皆お礼を言ってくれて良かったよ」と言ってくれて私に握手をされました。50名のスタッフに私からありがとうとお礼を言い、皆で乾杯をして、食事をして、帰途についた時は12時を過ぎておりました。

翌日の役員会で収支が出ましても、約一千万円の赤字だったと経

理担当重役より報告があり、社長より私宛に皮肉的な様子で「困りますなあ」。

その時初めて腹が立ってこの人には辞めてもらわねばと確信を持ち、これからは小生も腹をくくってこの人を辞めてもらわないと会社自体が先細りすると思ひ、その作業を行う決心を致しました。前回で書いた通りです。

以上、たいしたことない話を長々書きました事、お許しください。

暫く休憩したいと思ひます。

櫻井洋三

楽々亭第19回 4月の予定

4月19日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時～12時

3月に開催した場所です。

表玄関口から入って下さ

楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。